

特別展「ふしぎ！おどろき！大動物展」

「ほっとやまはく」

タイム⑱



動物たちの子育てが分かる展示

の多くは夜行性であり、警戒心が強く、観察することは難しいのですが、森の中には動物たちの落とし物（痕跡）がたくさんあります。展示ジオラマ内には、ふん、食痕、巣穴などの動物の落とし物や剥製、調査道具のトラップを配置しています。

ナル映像により、読み取ることが出来ます。例えば、タテゴトアザラシは北の海で生活する肉食性の動物です。流水の上で出産し、子育て期間はたったの14日間です。高脂肪のおっぱいを飲み、1日平均2キ体重を増やし、生後1週間から、お母さんが海中に赤ちゃんを誘い、泳げるようになっていきます。生後14日目にはお母さんは赤ちゃんのもとを離れます。

南アメリカのフォークランド諸島で子育てをするペンギンや、太平洋キリバス共和国クリスマス島の海鳥の子育てを、写真や映像により、紹介しています。剥製や、アフリカゾウやキリンの実際の写真により、大きさや形態もじっくり観察することが出来ます。

のぞいてみよう！動物たちの子育て

哺乳動物の子育ては、種の特性を最も顕著に表しているのかもしれない。おおかあさんから赤ちゃんへのプレゼント」と題して、動物たちの子育ての核心を写真とオリジナル映像により、読み取ることが出来ます。

哺乳動物の子育ては、種の特性を最も顕著に表しているのかもしれない。おおかあさんから赤ちゃんへのプレゼント」と題して、動物たちの子育ての核心を写真とオリジナル映像により、読み取ることが出来ます。



モグラのトンネルを利用する動物たち



タテゴトアザラシの子育て



アフリカゾウの群れの中での子育て

アナグマの森・オオサンショウウオの川

180度3D撮影カメラにより撮影したアナグマの家族を、13歳以上の人はVR（仮想現実）ゴーグルで、12歳以下の子はタブレットでじっくり見ることが出来ます。まるでアナグマ家族の一員になったようにすぐそばに居るような感覚になります。



巣穴から出てくるアナグマを待つ3D撮影の現場



巣穴で卵を守る雄のオオサンショウウオ



山口湾のカブトガニの産卵行動や幼生誕生映像と標本類

やまぐちの動物たち

カブトガニは、県内では平生町、山口市の山口湾、下関市の千鳥ヶ浜で

産卵、幼生などの観察ができ、産卵行動、幼生の発生・誕生を写真と映像で詳細に見ることが出来ます。日本で一番小さなネズミであるカヤネズミの巣作りや子育てなど、草原で繰り広げられる小さな動物の活動も追体験できます。

また、センサーを内蔵した機械（データロガー）で調べる手法であるバイオロギングの機器の歴史や仕組み、バイオロギン

田中浩（動物担当学芸員）
▽次回回は17日です。

山口県立山口博物館
TEL 083-922-0294
月曜休館（祝日の場合は翌日）。
最新情報はホームページで

